

ニュースリリース

2013年6月24日

2013年6月24日よりエース証券、丸八証券で募集開始



愛称: **ダブル・インパクト**

T&D日本株ファンド(通貨選択型)

円建てコース 米ドル建てコース
(追加型投信/国内/株式)

マネープールコース
(追加型投信/国内/債券)

T&D保険グループのT&Dアセットマネジメント株式会社(東京都港区、代表取締役社長:藤瀬 宏)は、本年7月5日に「T&D日本株ファンド(通貨選択型)(愛称:ダブル・インパクト)」を設定します。

〈ファンドの特色〉

1. わが国の株式を実質的な主要投資対象[※]とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。

※ 日本株の運用にあたっては、T&D日本株マザーファンドを通じて投資を行います。

- 株式への投資にあたっては、投資候補銘柄のなかから、市況動向、業績動向、バリュエーションや業種分散、株価水準等を勘案して組入銘柄および組入比率を決定します。
2. T&D日本株ファンド(通貨選択型)は、「円建てコース」、為替取引を行う「米ドル建てコース」および「マネープールコース」で構成されており、各ファンド間でスイッチングを行うことができます。
 - 米ドル建てコースでは、原則として円売り米ドル買いの為替取引を行い、米ドルへの投資効果を追求します。
 - マネープールコースは、T&Dマネーアカウントマザーファンドを通じて主としてわが国の公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
 3. 日本株の運用にあたっては、ライオン・グローバル・インベスターズが、ファンドの運用のための情報および助言等の提供を行います。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

購入の申込期間: 2013年6月24日(月)~2013年7月4日(木)
 設定日: 2013年7月5日(金)
 取扱販売会社: エース証券株式会社、丸八証券株式会社

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位(当初元本 1口=1円) なお、マネープールコースは、スイッチング以外による購入はできません。
	購入価額	当初申込期間:1口当たり1円 継続申込期間:購入申込受付日の基準価額
	購入の期間	当初申込期間:平成25年6月24日~平成25年7月4日 継続申込期間:平成25年7月5日以降
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	「円建てコース」「米ドル建てコース」 換金申込受付日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額 「マネープールコース」 換金申込受付日の基準価額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	平成30年6月25日まで(平成25年7月5日設定)	
決算日	6月、12月の各25日(休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は平成25年12月25日です。	
収益分配	年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。	

ファンドの費用

● 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.15%(税抜3.0%)以内 で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 (マネープールコースの購入はスイッチングによる場合のみとします。) 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
スイッチング手数料	購入価額に、 1.05%(税抜1.0%)以内 で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 (マネープールコースへのスイッチングには手数料はかかりません。) 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.2% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。 (マネープールコースには信託財産留保額はかかりません。)

● 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●「円建てコース」「米ドル建てコース」:年1.5645%(税抜1.49%) ●「マネープールコース」:年0.5775%(税抜0.55%)以内
その他の費用・手数料	【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年0.00525%(税抜0.005%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

ファンドの投資リスクについて

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

[各ファンド(マネープールコースを除く)]

[マネープールコース]

株価変動リスク

為替変動リスク

債券価格変動リスク

「円建てコース」「米ドル建てコース」共通

「米ドル建てコース」

※基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。
詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、ニュースリリースとしてT&Dアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にてご入手いただけます。

以上

※本件に関するお問い合わせ※

T&Dアセットマネジメント株式会社 投信営業部

電話03-3434-5544 <http://www.tdasset.co.jp/>